

2022 年 9 月 30 日

関係各位

千代田化工建設株式会社  
IR・広報・サステナビリティ推進セクション**インドネシア プルタミナ社とタンジュンエニム CCS<sup>※1</sup> 事業に関する共同検討業務を開始**

千代田化工建設株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役会長兼社長:榊田 雅和、以下「当社」)は、「インドネシアにおける化学品製造プラントから副生される CO<sub>2</sub> の大規模輸送・貯留の実現可能性調査」事業(以下、「タンジュンエニム CCS 事業」)について、インドネシア国営石油会社 PT Pertamina(Persero)(本社:インドネシア ジャカルタ、代表取締役社長 Nicke Widyawati、以下、「プルタミナ社」)と共同検討業務を開始しましたので、お知らせいたします。

本年 1 月 18 日に当社とプルタミナ社はネットゼロ実現に向けた脱炭素分野の協力に関する覚書を締結しており、本タンジュンエニム CCS 事業の検討業務は、そこからの具体的な展開となります。なお、本件は日本とインドネシア間の関係強化に資する二国間協力と評価され、経済産業省の補助金事業に採択されています。

GX(グリーントランスフォーメーション)の実現に向けた経済産業省主催による東京 GX ウィークにおいて、初日である 2022 年 9 月 26 日に開催された「第2回アジアグリーン成長パートナーシップ閣僚会合(AGGPM)」プログラム第2部セッション "AETI<sup>※2</sup> 関連企業間 MOU 署名式" において、プルタミナ社との共同検討契約が締結されました。

本タンジュンエニム CCS 事業は、インドネシア エネルギー・鉱物資源省とプルタミナ社との協議に基づき、同国で計画されている DME(ジメチルエーテル)製造プラントから排出される年間 100 万トン、20 年間で計 2,000 万トンの CO<sub>2</sub> 削減量を想定し、経済性や費用対効果などを考慮しながら、CO<sub>2</sub> の回収・輸送及び貯留設備の建設・運転に関する技術的課題に対応し、プルタミナ社と共同で実現可能性検討を行うものです。

当社は総合エンジニアリング企業として長年のプラント建設をとおして蓄積された技術やインドネシアでの数多くの建設実績を活かし、プルタミナ社とともにインドネシアの掲げる「2060 年カーボンネットゼロ実現」に向けて本事業の実現に貢献してまいります。

CCS<sup>※1</sup>: Carbon Capture and Storage(二酸化炭素回収・貯留)AETI<sup>※2</sup>: Asia Energy Transition Initiative の略。2021 年 5 月の「日 ASEAN ビジネスウィーク」において経済産業省が表明した、アジアの持続的な経済成長とカーボンニュートラルの同時達成に向けた具体的支援策を含むイニシアティブ。



写真:2022年9月26日 第2回 AGGPM での MOU 署名風景

#### 千代田化工建設株式会社 概要

千代田化工建設株式会社は世界をリードする総合エンジニアリング事業者です。1948年の創業以来、世界60か国以上で石油・ガス、化学、石油化学など幅広い事業分野で設計・調達・建設(Engineering, Procurement and Construction: EPC)から運用、保守のサービスを提供しています。

#### プルタミナ社 概要

プルタミナ社はインドネシア政府が運営する国営の総合エネルギー会社です。上流開発、ガス、製油所及び石油化学、電力及び新エネルギー・再生可能エネルギー、コマーシャル及びトレーディングからなる5つのサブホールディングを有し、幅広い事業を展開しています。

以上

---

この件に関するお問い合わせ先 : IR・広報・CSR セクション 池尻 / 津川

Email: [irpr@chiyodacorp.com](mailto:irpr@chiyodacorp.com)

URL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/index.php>